

農林水産資源を活用した新需要創出プロジェクト

1. 事業概要

今後、少子高齢化の一層の進行が見込まれる中、国内の農業・食料関連産業の市場規模の維持・拡大を図るためには、農林水産物の機能性成分が有する疾病予防機能などを活用し、新たな需要を開拓していくことが重要となっています。

このためには、農林水産物が有する機能性成分の有効性やそれらを含む農林水産物の個人に適した効果的な摂取条件等を科学的に明らかにするとともに、それぞれの農産物の機能性成分の含有量は一定ではないため、生産現場で簡易に評価できる技術開発等が必要です。

そこで、本事業では、我が国における農林水産資源を活用した新たな需要を創出するため、以下の3課題を実施します。

- (1) 農林水産物が有する機能性成分のヒトレベルでの有効性やそれらを含む農林水産物の効果的な摂取条件等を科学的に明らかにします。
- (2) 生産現場で簡易に評価できる技術等を一体的に開発します。
- (3) 農畜産物の医薬分野における利用に向け、コメに有効成分を蓄積させたスギ花粉症治療薬やカイコ・牛などを原料とした医療用新素材について、ヒトや動物での安全性・有効性の評価を実施します。

今回は、(1) 及び (2) について、公募を行います。

2. 公募研究課題別の研究開発内容、目標等

(1) 農林水産物の機能性の解析評価技術の開発

- 公募研究課題 1：個人に適した効果的な摂取条件等を特定する手法の開発及び摂取条件等を普及するためのモデル体制の構築（リンゴ）
- 公募研究課題 2：個人に適した効果的な摂取条件等を特定する手法の開発及び摂取条件等を普及するためのモデル体制の構築（茶）
- 公募研究課題 3：個人に適した効果的な摂取条件等を特定する手法の開発及び摂取条件等を普及するためのモデル体制の構築（タマネギ）

① 研究開発の具体的内容

リンゴ、茶及びタマネギを研究対象として、コホート研究により、個人の年齢・性別・健康状態・栄養状態等、個人に適した効果的な摂取条件等を特定する手法を開発します。平成23年度からの委託事業「農林水産物・食品の機能性等を解析・評価するための基盤技術の開発」の成果を活用して、農産物の摂取による疾病予防効果に関する研究を行うため、研究対象としている農林水産物のうち、コホート研究が充実しているリンゴ、茶及びタマネギを対象とするものです。

また、機能性成分を有する農林水産物を効果的に摂取するための条件等について、医学関係者・管理栄養士等との連携による栄養指導等を通じて提示するなど、個人の食生活に取り入れられるためのモデルとなる体制を構築します。

公募は、リンゴ、茶及びタマネギのそれぞれの農産物ごとに1件ずつ、計3件行います。以下の留意事項を御確認のうえ、応募してください。

〈留意事項〉

- ア 研究実施期間が1年であり、期間内に成果を得る必要があることから、現在までにリンゴ、茶及びタマネギに関するコホート研究を実施している機関をコンソーシアムに参画させてください。
- イ コホート研究には、地方自治体等との連携が欠かせないことから、該当機関を参画させてください。
- ウ コホート研究やヒト介入試験の成果をベースに、機能性成分の有効性や効果的に摂取するための条件等について、管理栄養士等との連携による栄養指導等を通じて提示するなど、個人の食生活に取り入れられるためのモデルとなる体制を構築するため、管理栄養士を有する機関等の地域支部等を参画させてください。

② 達成目標（最終目標）

個人に適した効果的な摂取条件等を特定する手法を開発します。また、医学関係者・管理栄養士等との連携により、機能性成分を有する農林水産物を効果的に摂取するための条件等について、管理栄養士等との連携による栄養指導等を通じて提示するなど個人の食生活に取り入れられるためのモデルとなる体制を構築します。

③ 研究実施期間（予定）

平成25年度（1年間）

④ 平成25年度の委託研究経費限度額

公募研究課題1件につき、委託契約費の上限は36,120千円とします。

（2）国産農産物の潜在的品質の評価技術の開発

公募課題1：国産農産物の潜在的品質の評価技術の開発

① 研究開発の具体的内容

農産物とその加工品の多様な品質（機能性、食味、加工特性など）について、従来では複数の分析法・評価法を用いなければ得られなかった各種情報を、光学的手法等によって一括で取得し、生産現場で迅速に評価する新しい農産物評価法（一斉品質評価技術）を開発します。

② 達成目標（最終目標）

活用用途が多く、種類も多い代表的作物であるリンゴ・トマトの2品目について一斉分析技術を開発します。

③ 研究実施期間（予定）

平成25年度～平成29年度（5年間）

④ 平成25年度の委託研究経費限度額

111,173千円

3. 委託件数

公募研究課題ごとに、原則としてそれぞれ1件とします。

4. 問合せ先

上記の内容に関する問合せは、応募の締切りまでの間、下記において受け付けます。
なお、審査経過、他の提案者に関する事項、応募に当たり特定の者にのみ有利となる事項等にはお答えできません。また、これら以外の問合せについては、質問者が特定される情報等を伏せた上で、質問及び回答の内容を農林水産技術会議事務局のホームページにて公開させていただきますので、御承知おきください。

記

- 公募研究課題（1）について
農林水産技術会議事務局研究統括官（食料戦略・除染）室 担当者 坂本、中田
TEL：03-3502-2549
FAX：03-3502-4028

公募研究課題（2）について
農林水産技術会議事務局研究開発官（食の安全、基礎・基盤）室
担当者 後藤、吉田
TEL：03-3502-7430
FAX：03-3593-7227
- 契約事務について
農林水産技術会議事務局総務課契約班 担当者 江橋
TEL：03-3502-7967
FAX：03-5511-8622

委託プロジェクト研究の公募説明会 参加申込書
(農林水産資源を活用した新需要創出プロジェクト)

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究統括官(食料戦略・除染)室 宛て
(fax: 03-3502-4028)

平成 年 月 日

該当委託プロジェクト研究名
農林水産資源を活用した新需要創出プロジェクト

研究機関等の名称:

参加希望人数: 人

所属・役職:

氏名:

所在地:

連絡先: tel

fax

e-mail:

その他:

注)「所属・役職」欄以降の記載に当たっては、当該説明会参加を希望する者のうち、連絡窓口となる1名について記載して下さい。